

# 社会保険労務士からの三方一両得だより

令和5年2月20日 第161号

## シネマオルガンコンサートに行ってきました

那須野が原ハーモニーホールで、シネマオルガンのコンサートを聴いてきました。1925年作の無声映画「オペラ座の怪人」に、パイプオルガンで伴奏を演奏するという珍しい企画です。「オペラ座の怪人」は2004年作の映画を見て大好きになり、劇団四季のミュージカルも見に行きました。こちらの無声映画は見たことが無かったのですが、約100年前のものであることを考えれば、なかなか手間のかかった凝った映画だと思います。意外なラストで画面にfinと出た時には、妻と同時に「えっ」という言葉が出てしまいました。2004年版はミュージカル向けに大幅にアレンジされていることが分かりました。

当時のアメリカやヨーロッパではシアターオルガンという楽器で、無声映画に即興で伴奏を付けるということが行われていたそうです。毎回演奏が変わるのも楽しみの一つだったとのこと。今回は演奏者が事前に練り上げた構成で、音楽と共に効果音も演奏され、パイプオルガンの表現力の高さを実感できました。



許可をいただいて撮影しました。

映画は時々説明文だけの画面が写し出され、それに日本語の字幕が付くので筋は難なく分かります。ただ、元の英文が結構簡単な単語が多かったため、無意識にそちらも読もうとしてしまい、とても疲れました。英語が得意なわけでもないのに、何だか不思議な感覚でした。



先月植えた芽の出た報告です。先月までは全く雨が降らず心配していましたが、今月何回か強めに降った雨がビニールの下にも回り込んだようで、土はしっとりとしていました。少し掘ってみますと、芽が少し伸びたものもあれば、完全に腐ってしまったものもありました。そろそろ種芋を植える時期です。保険として少しだけ購入して植えようと思います。

我が家の畑

## 職場の生産性低下を招くことも…… 積極的に花粉症対策に取り組みましょう

毎年多くの人を悩ませる花粉症。2023 年も花粉のシーズンがやってきました。今年のスギ花粉の飛散量は、過去 10 年平均の 2.3 倍ともいわれています。飛散量が多い年は初めて発症する人が多いとの指摘もされていますから、今年は特に注意が必要です。

花粉症は、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみといった症状を引き起こし、生活や仕事に決して小さくない影響を及ぼします。実際、スギ花粉症に代表されるアレルギー性鼻炎患者の労働生産性の低下による経済的損失は、日本全体で年間4兆円とも5兆円とも試算されています。

くしゃみや鼻をかむことで作業が中断させられたり、目のかゆみや鼻水で集中力を保ちづらかったり、鼻づまりで口呼吸が増えることにより体内に取り込む酸素の量が減少して判断力が低下したり……花粉症の従業員のパフォーマンスの低下を感じている方は少ないのではないのでしょうか。

このような状況を踏まえ、企業として花粉症対策に取り組むところも出てきています。

例えば、オフィスがそれほど広くない場合は、フィルター式の空気清浄機を設置することで、ほぼすべての種類の花粉を効率的に取り除くことが可能です。カーペットが静電気を帯びているとオフィス内に花粉が付着・蓄積しやすくなりますので、専門業者に帯電を防ぐ処理を依頼するのも有効です。出勤時に洋服に付いた花粉を室内に持ち込まないように、玄関にコロコロを置くのも良いでしょう



福利厚生として「花粉症手当」を設けている企業もあります。このような企業では、申請により医療機関の受診料や治療薬の費用を助成したり、花粉症専用マスクや目薬などの花粉症対策グッズを支給したりすることで、意識的に治療に取り組んでもらい、仕事の効率アップを図っています。

花粉症は対策も取りやすく、またその効果も実感しやすいものです。取組みを検討してみるのも良いかもしれません。